

## 75 増養殖対策

【1, 451（1, 435）百万円】

### 対策のポイント

持続的な漁業・養殖業の確立のため、

- ・広域種の資源造成実証試験等の栽培漁業対策及びサケ回帰率回復のためのサケ・マスふ化放流事業対策
- ・低魚粉配合飼料による養殖技術の確立・普及や養殖に適した家系の作出等の養殖業対策
- ・カワウ・外来魚の被害防止対策等の内水面漁業・養殖業対策を支援します。

### <背景/課題>

- ・我が国の漁業生産量がピーク時から半減している中で、国民に水産物を安定供給していくためには、水産物の増殖及び養殖を一層推進する必要があります。

### 政策目標

- 主な栽培漁業対象魚種及び養殖魚種の生産量の増大  
(1,572千トン（平成24年度）→1,739千トン（平成34年度）)
- 漁業被害を与えるカワウの個体数の半減

### <主な内容>

1. 増殖に関する支援事業 507（489）百万円
  - (1) 栽培漁業総合推進事業 125（117）百万円

栽培漁業について、広域種の資源造成の取組や環境変化に適応した種苗生産等に対する支援及び漁業者や消費者のニーズを踏まえた新たな種苗生産技術の開発促進等を実施します。
  - (2) さけ・ます資源回復推進事業 340（326）百万円

サケの回帰率回復のため、種苗の放流手法を改良する取組を支援するとともに、放流後の減耗回避や健康性の高い種苗を育成する手法の開発を行います。  
※ さけ・ます対策としては、別途、東日本大震災復興特別会計（復興庁計上）において、被災地における採卵用サケ親魚の確保を支援します。
  - (3) 二枚貝資源緊急増殖対策事業 42（47）百万円

資源の減少が著しい二枚貝の人工種苗生産技術を開発するとともに、増殖手法の実証化の取組を支援します。

〔委託費、補助率：定額、1/2以内〕  
〔委託先、事業実施主体：民間団体等〕

2. 養殖に関する支援事業 233（236）百万円
  - (1) 戦略的魚類養殖推進事業 122（一）百万円

ブリ・マダイ等の主要養殖魚種における低魚粉配合飼料使用による養殖技術の確立・普及や、養殖に適した成長の良い家系の作出、北日本における養殖対象種としてニーズが高いベニザケの養殖手法の開発、養殖飼料の需給安定に向けた効率的な供給・調達の体制構築等を支援します。

〔委託費、補助率：定額〕  
〔委託先、事業実施主体：民間団体等〕

(2) クロマグロ養殖用の高機能、高効率餌料の開発事業

53 (53) 百万円

クロマグロ養殖の生産コストを大幅に削減するためにクロマグロ人工種苗の量産化に不可欠な初期餌料の開発を行います。

( 委託費 )  
( 委託先：民間団体等 )

(3) 真珠養殖業等連携強化・成長展開事業

20 (25) 百万円

オールジャパンで真珠養殖業等の振興に取り組むため、国・地方公共団体・事業者・研究機関等が連携強化するための協議会を整備し、一丸となって行動計画を策定するとともに、次世代を担う人材を協議会が認定し、その活動の支援を行います。

( 補助率：定額 )  
( 事業実施主体：民間団体等 )

(4) 環境変化に適応したノリ養殖技術の開発事業

38 (一) 百万円

高水温適応品種のノリの実用化に向けた養殖試験及び二枚貝の増養殖と組み合わせたノリ養殖試験を実施します。

( 委託費 )  
( 委託先：民間団体等 )

3. ウナギ対策関連事業

457 (457) 百万円

(1) ウナギ種苗の商業化に向けた大量生産システムの実証事業

310 (310) 百万円

ウナギの人工種苗の量産化が喫緊の課題であり、商業化に向けた大量生産システムの実証試験を実施します。

(2) 鰻供給安定化事業

147 (147) 百万円

国際的なウナギの資源管理の推進や生息環境改善の取組の支援、ウナギの生息状況の調査、適切な放流手法や環境収容力の評価手法の開発を行います。

( 委託費、補助率：定額、3/4以内 )  
( 委託先、事業実施主体：民間団体等 )

4. 健全な内水面生態系復元等推進事業

253 (253) 百万円

広域的な連携の下で行うカワウ・外来魚の生息状況調査、カワウの個体数削減に向けた駆除等の取組を支援するとともに、外来魚の生息場所の的確な把握を踏まえた効率的な駆除技術等の開発を行います。

( 委託費、補助率：定額、1/2以内 )  
( 委託先、事業実施主体：民間団体等 )

( お問い合わせ先：  
1、2 (1)、(3)、(4)、3 (2)、4の事業  
水産庁裁培養殖課 (03-3501-3848)  
2 (2)、3 (1)の事業  
水産庁研究指導課 (03-3502-8482) )

# 増養殖対策の概要

【平成30年度予算概算決定額:1,451(1,435)百万円】

## ポイント

持続的な漁業・養殖業の確立のため、

- ① 広域種の資源造成実証試験等の栽培漁業対策及びサケ回帰率回復のためのサケ・マスふ化放流事業対策
- ② 低魚粉配合飼料による養殖技術の確立・普及や養殖に適した家系の作出等の養殖業対策
- ③ カワウ・外来魚の被害防止対策等の内水面漁業・養殖業対策を支援。

### 1. 増殖に関する支援事業 507(489)百万円

- 広域種の資源造成実証試験や新たな栽培対象種の開発促進等を実施 125(117)百万円
- サケの回帰率回復のため、種苗の放流手法を改良する取組を支援するとともに放流後の減耗回避や健康性の高い種苗を育成する手法を開発 340(326)百万円
- 二枚貝の人工種苗生産技術の開発とともに増殖手法の実証化の取組を支援 42(47)百万円

広域種の放流手法の実証



サケ放流後の減耗回避のため、河川下流域に輸送して放流



### 2. 養殖に関する支援事業 233(236)百万円

- 低魚粉配合飼料使用による養殖技術の確立・普及や養殖に適した家系の作出、養殖飼料の需給安定に向けた効率的な供給・調達の体制構築 122(-)百万円
- クロマグロ養殖用の高機能、高効率餌料の開発 53(53)百万円
- 真珠養殖業等の振興に取り組むため協議会を設置するとともに次世代を担う人材を認定・支援 20(25)百万円
- 環境変化に適応したノリ養殖技術の開発 38(-)百万円

低魚粉配合飼料使用の実証試験



### 3. ウナギ対策関連事業 457(457)百万円

- 商業化に向けたウナギ種苗の大量生産システムの実証試験を実施 310(310)百万円
- ウナギ資源増殖のための生息環境改善や海外養鰻業者との資源管理の協議に対する支援 147(147)百万円

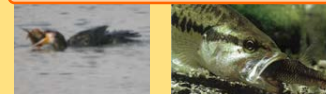
石倉増殖礁による生息環境改善



### 4. 健全な内水面生態系復元等推進事業 253(253)百万円

- 広域的な連携による推進体制の下で行うカワウ・外来魚の駆除等の取組を支援 253(253)百万円

カワウ・外来魚による食害



国民に対する安定供給の確保  
ウナギ資源の持続的利用  
栽培及び養殖魚種の生産量の回復